

# ダイヤかながわ交流会

## ニ ュ ー ス 第44号

### またもや大ヒットー北陸出張

大竹 寿利



- 【1】金沢で開催された「ねんりんピック石川」での催事参加（10/9～11）
- 【2】能登半島七尾市立和倉小学校での「教室」実施（10/12）

【1】ねんりんピックとは高齢者の国体と呼ばれ、全国から競技者が50万人集まると称されている。ここでは文化催事も行われるが、我々は「子ども教室」の展示説明を実施した。一昨年の鹿児島、昨年の札幌に続き3度目の参加である。

#### （1）かながわ子ども教室

- ・私たちの教室活動はNPO法人化して2年目に入った。もの凄い勢いで発展中である。会員は46名となりそのうち4名の方がダイヤかながわではない一般の人である。月1回開催の実行委員会の時など県民センターの会議室は満杯で補助席を使用してしのいでいる。教室開催は年間140回を超える勢いにある。
- ・本年より（独）福祉医療機構より助成金が受けられることになった。8月中旬に内定通知をもらい、軍資金が得られる見通しとなったため「ねんりんピック」に立候補した。半年遅れの申請は厳しく、市内中心部のメイン会場はおろか郊外の4つの産業展示館も満杯であった。主催者の好意で産業展示館の前にテントを張ることにした。結果的にはこの場所が意外に良かった。シャトルバスの発着場と4号展示館の間に位置し、人の流れのあるところであった。（ユニフォームとして黄色いベストを着用し名札をぶら下げた我々は、大会運営委員と間違えられ競技場や建物の問い合わせを受けることしばしばであった。）



産業展示館前のテント

#### （2）ねんりんピックの準備

- ・申請書・計画書その他各種資料を県庁宛提出し承認を得る。
- ・大型テント2張り及び雨対策の付属テントの用意。
- ・出し物を海洋・環境・光学・電気・電波の5教科とする。

- ・参加者20名を公募したところ23名の応募あり。全会員の半数であるが、経費の圧縮により23名全員参加できるように工夫することにする。
- ・人気を得たいところなのでタイトルを「おもしろ科学実験教室」とする。
- ・カラー刷りのチラシを300枚作成し、「長寿社会開発センター」ルートで現地関係先に事前に配布する。
- ・幟・小旗・表示看板の作成、ウェアへのロゴマーク縫い付け、その他小物の用意。
- ・交通・宿泊の手配。
- ・マスコミ対策、安全対策、危機管理対策、夕食場所・バス便調査・宅急便受領者選定・参加要項の配布。
- ・「子ども教室」宣伝用チラシの作成。

中でもどうにも難航したのがホテルの手配であった。JTB金沢が全てを抑えていたため金沢市内ではとれないので市外手配が常識という異常さであった。主催者の長寿社会開発センターの一員であることにして「JTB法人」社より高い値段で分けてもらうありさまであった。交通の方は経費圧縮策を実施した。航空機使用は割安航空券がないので陸路とし、東海道新幹線ルートは片道601km以上の1割引さらにジパング倶楽部の3割引適用とする。ジパング倶楽部会員ではない人は距離の短い上越新幹線ルートとし6枚綴りの回数券購入とする。金沢市内移動は路線バスではなく無料のシャトルバスを利用する。

### (3) 参加の狙い

子どもたちをできるだけ大勢呼び込んで「おもしろ科学実験教室」を教え、高齢者に私たちの教室活動を実践に示し、活動の楽しさ・面白さをアピールし、同好の士を見つけていく。実際には石川県生涯学習インストラクターの会が関心を寄せている。

(3月に県庁職員より紹介のあった上記団体には、助成金内定までは具体策を示すことができず既に半年が経過していた。)

### (4) <成果その1>

県庁職員より「入場者数は500名にしておきますよ。」とメール連絡が入る。「1日あたり



500名、3日間で1500名が最低目標。予定入場者はあくまでも2000名超ですよ。」と返信。たぶん郊外のこの立地条件では既にこんなレベルの数字が他の団体から出ていたものと思われた。

さて初日は折悪しく北陸特有のかなりの雨。雨対策の付属テントが功を奏したものの来場者はまばら。469名という結果であった。明日は何とかしなくちゃあの心境。

2日目はスコールがあったもののほぼ曇りの天気でなんと1215名の来場者あり。先生・サポーターがてんでこ舞いでテント内はむんむんの状態。カウント係は交代で担当したが、食事時間がとれない状態。3日目は帰路電車の関係で14時35分に早々と店じまい。それでも668名来場。3日間合計で2352名という素晴らしい結果であった。



うち子どもが1304名（55％）であった。子どものうきうきした顔、高齢者や親のなるほどといった感心した顔にどれだけ癒されたことでしょ。フェスタ参加のメリットの一つに教える側の楽しさがあります。

### <成果その2>

石川県インストラクターの会川部会長以下計6名が来場し、実験機材に触れ関心を示し自分達が取り組むべき相手と認識した様子であった。また子どもたちの喜ぶさまに驚いていた。帰路に立ち寄り小学校の正規の理科授業を実施する予定となっているが双方ともに力を入れる体制となってきたことが確認できた。



### <成果その3>

- ・助成金を支給してくれる（独）福祉医療機構の長野理事長が来場された。実際に実験機材を体験してもらい、また子どもたちの喜ぶさまそして嬉しそうに対応する高齢者に大いに満足された様子であった。
- ・来年の開催地である熊本のねんりんピック担当者が我々のブースをひそかに見学しており、長寿社会開発センター宛に私たちの出展要請メッセージが届けられた。
- ・同じく熊本市の教育委員会の代表が我々のブースの「客引き」の熱心さに驚いたとのメッセージを出している。しかしながら地元新聞の取材はあったものの、記事掲載は地元団体のみで当方は掲載されなかった。



### (5) 振り返り

実質的には盆休み明けの8月下旬に動き出した「ねんりんピック推進チーム」ではあるが、よくもここまで到達できたものと思うところである。

交通や宿泊でハンデキャップを負い、9/11～12の調布展（全国展開第1号となりそうな多摩インストラクターの会への出展）参加を実施しながら僅か1ヶ月半の間に走り回ったところである。ある準備委員は金沢への往路のいでたちは、印刷物・小物を詰めたリュックを背負い、片手に旅行用品を入れたキャリーバッグを、もう片方にはパソコン・プロジェクターを入れた重たいキャリーバッグを操作するという三重苦のような格好でした。誠に申し訳ない、の一語でした。然し帰路では私も同様の状態でうろちょろしながら戻ってきたところです。ともかく参加者全員が健康を損なうことなく無事行事を終了できたことはたいへんにありがたい事でした。



3日間の展示を終えて

但し何名かの方からこれだけハードな活動からして来年の参加は見合わせたいのご意見を頂戴いたしました。大いに反省するところです。改善すべき点が多々あると思います。折角ここまで育ってきた遠隔地での催事参加です。様々な体験が得られました。これだけの実績、これだけの成果はそんじょそこらにはありはしないことを記して参加各位のご努力に感謝の意を表するところであります。来年は若手中心に新チームが編成され、さらに素晴らしい評価が得られることを願うところです。

## 【2】七尾市立和倉小学校で正規の授業としての理科教室実施

10/11に金沢でのねんりんピック催事を終えて、8名編成のチームは既に特急列車がないため鈍行にて1時間半の七尾に到着。石川インストラクターの会七尾本部の求めに応じてあくる日の12日に和倉小学校にて理科教室を受け持つことになっている。海洋は金沢より教材を担いできた。電気は宅急便にて別途送ってあった。

翌日学校に到着するやただちに教室準備。5年生には海洋を、そして6年生には電気を教える。石川インストラクターの会のメンバーには教室運営の仕方をつぶさにみてもらう。私たちの実際の活動ぶりを目の当たりにすることで創作意欲を高めさせるのが狙い。

参加した生徒の感想文は次のように書かれていた。<しんかい6500の潜水・浮上の実験が面白



和倉小海洋教室の潜水実験

白い。><深海でカップラーメンの容器がすごく縮むことがわかった。><手回し発電機が楽しい。>、<電気が大切だとわかった。>などなど。

石川インストラクターの会川部会長はこの時点で我々が単に一過性の活動ではなく本腰を入れていることを確認し共感を深めたように思われた。理科教室実現へと強い意欲を抱いたように感じられた。今後のフォロー次第で収穫が確信できるとの感を得た。

## 「社会見学の会」秋の報告

社会見学の会

丸山 裕三



### 1. 見学会の実施内容

- (1) 日時 : 平成22年11月6日(土) 13:00~16:30
- (2) 場所 : 神奈川県横須賀地区
- (3) 見学会内容 : ① 海上自衛隊・護衛艦の見学(海上自衛隊・横須賀地方総監部)  
② 記念艦「みかさ」の見学(三笠公園・三笠保存会)
- (4) 参加者 : 見学会 27名



## 2. 見学記

(1) 護衛艦「おおなみ」見学 13:00~14:30

好天の穏やかな日和に恵まれ、JR 横須賀駅に、12:30 集合し、海上自衛隊・横須賀地方総監部へ、徒歩にて向かう。

護衛艦「おおなみ」は、平成 15 年 3 月に就役。

ヘリコプターを搭載し、また、コンピューターによって、様々な情報・多数の武器を集中処理・管制でき、空中、水上、水中のいずれからの脅威に対しても、迅速に対処しうる能力を有しているとのこと。



護衛艦「おおなみ」のヘリポートにて



護衛艦おおなみ

見学は、3 班に分かれ、各グループに 2~3 名の乗組員が案内に付き、熱心で丁寧な説明を受けましたので、最新鋭の防衛機構の一端を理解できたような満足感がありました。

なお、面白いことに基地内や艦艇内は撮影自由というので、全員で隊員と共に記念撮影を行った次第です。

(2) 記念艦「みかさ」の見学 15:00~16:30

護衛艦見学後、三笠公園へ移動。

戦艦「みかさ」は、明治 35 年 英国で建造され、明治 38 年 日露戦争で、ロシアのバルチック艦隊を撃破、大正 15 年 記念艦として保存されることとなったとのこと。

見学は、先ず、記念艦「みかさ」の講堂で、「みかさ」に関するビデオ、および映画「海ゆかば」のダイジェスト版を視聴。その後、三笠保存会員の案内で、艦内を見学。

連合艦隊の参謀秋山真之が主人公となっている NHK 大河ドラマ「坂の上の雲」(第 2 部)が、12 月から放映されますが、幾つかのシーンはこの「みかさ」でロケが行われたそうです。



連合艦隊旗艦三笠と東郷司令官像の前で

3. 懇親会 17:00~20:00

京急・横須賀中央駅近隣の「土風炉」（とふうろ）で、懇親会を実施。  
女性会員 2 名を含め、17 名が参加し、なごやかに、かつ大いに盛り上がり、会員相互の親睦を深めることができました。

## 東戸塚周辺の歴史を訪ねて

歩こう会

鳥居 圭市



第 45 回歩こう会は、2010 年 10 月 14 日に 17 名が参加して東戸塚周辺の歴史を訪ねて約 5km を歩いた。旧東海道の道筋にあたる界隈を、歴史の表舞台には現れないような歴史余話など、竹村会員の懇切丁寧な解説付で巡った。途中若干の坂道はあったが、中秋の穏やかな気分で歩き日和であった。終了後に有志 10 名が駅近くの居酒屋で懇親・反省会をもった。  
全行程と主な地点は以下の通り。



東戸塚駅 → 北天院 → 新見家墓所 → 武相国境道 → 境木地蔵 → 投げ込み塚 → 萩原代官屋敷 → やきもち坂 → 品濃一里塚 → 福寿観音 → 品濃坂 → 品濃白旗神社 → 東戸塚駅（解散）

**東戸塚駅**：近隣住民の 100 年来の念願が 関東大震災や太平洋戦争などで延び延びとなり、漸く 昭和 55 年に地元住民の建設費負担で開業に至った請願駅。駅の近くに東戸塚駅及び周辺の開発に尽力した福原政二郎氏を顕彰する福寿観音がある。



**北天院**：臨済宗円覚寺派の寺院。北条時宗の招請により宋から渡来した仏光国師の勧請開山。門を入ると直ぐに「神奈川の銘木」に指定された 樹齢 500 年のイヌマキの巨木が聳え、参道 108 段の「お数珠坂」の脇には古い地蔵像や道祖神が数多く置かれている。





**境木地蔵**：武蔵・相模国境道と東海道が交差する所に 国境を示す標識木があったことから「境木」の地名が生まれた。腰越の濱に打ち上げられた地蔵尊を 人々が江戸に運ぶ途中 この地で動かなくなり、やがて 住民の夢枕に立ったので、この地に地蔵堂を建てて祀った と伝えられている。



武相国境之木

**萩原代官屋敷・道場跡**：萩原家は、平戸村領主だった 旗本「杉浦越前守」の代官職で、直新影流免許皆伝を得て剣道場を開いていた。安政 5 年に、近藤勇がここを訪ねたという記録が残っている。

**焼き餅坂・谷宿坂(子母美坂)**：立場を過ぎて 昼なお暗い切り通しの急坂を「焼き餅坂」といい、これに続く坂道を谷宿坂(子母美坂)という。ここに薬師堂があったが、堂前を乗馬で通ると必ず落馬するので里人は下馬薬師と呼んで恐れ、堂を街道から外れた東福寺境内に移したと言われている。



**品濃の一里塚**：江戸日本橋より9番目の一里塚。道の両側に塚が残っているのは県内ではここだけで、現在縣指定の史跡として保護されている。

## 部会だより

### <歩こう会> (鳥居)

今後の予定：歩こう会はこれまで年3回程度開催されています。今後もこんな感じで行こうと思います。次回は未定ですが、「来春の隅田川の桜、スカイツリー」を巡るのも一案かと考えています。下見等を経て決まりましたらご案内します。

### <社会見学の会> (丸山)

来春は工場見学を計画したいと思います。

### <かながわ子ども教室> (藤井)

○秋のシーズンの教室開催も会員の皆様の活躍で盛況でした。10月の教室開催は16回で、講師

サポーター参加は延105名、11月は16回で102名でした。

このほか10月9～11日までのねりんピック石川2010には、23名の会員参加があり、来場者2,352名の大きなイベントとなりました。地元の皆さんに喜んでいただいたとともに、石川県の主催者からも高い評価を頂きました。その帰途一部の会員(9名)で七尾市の和倉小学校で「電気」「海洋」2教室の模範実験教室を実施しました。

◎教室運営資金として現在(独)福祉医療機構と日本財団から助成金を頂いていますが、23年度の助成金として日本財団へ申請済みです。申請結果は来年の3月通知があります。なお福祉医療機構への23年度の申請については、国の予算が決定次第ということで申請受け付けはもう少し先になるとのことです。

◎福祉医療機構の助成対象事業として、教室開催を実行できる同志を、近隣地区を含め全国的に探し出し、具体化していくことを検討しています。(全国展開推進チーム)

ダイヤかながわ交流会の会員皆様のお知り合いで同志になりそうな候補者を、是非ご連絡ください。

◎「かながわ子ども教室」のホームページの改訂をHP委員会で、精力的に検討しています。時々HPを覗いてみてください。

## <同好会>

### ゴルフ(繁本)

平成23年度春のゴルフ会は、4月12日(火)長竹CCにて行います。4組16人を目指しています。参加可能の方は、是非手帳に予定をご記入下さい。

### 旅行(白幡)

予定はありません。

### ダイヤかながわサロン(望月)

次回のサロンは、1月24日(月) 16:00~18:00 桜木町のみなとクラブ で実施の予定です。あらためてご案内いたします。どうぞよろしく願いいたします。

### 麻雀(白幡)

次回第19回は3月1日(火)14時からパピヨン(大船)にて開催します。

### 観劇・鑑賞会(大竹)

映画「武士の家計簿」(幕末から明治。激動の時代を知恵と愛で生き抜いた家族の姿)を12月11日、TOHOシネマズららぽーとで、12名参加して鑑賞しました。

## <<編集後記>>

今年の漢字は、やはり思っていた通りの「暑」でした。夏の歩こう会も猛暑の中、前号編集の9月中旬も暑かった。NPOかながわ子ども教室も2年目に入り熱く燃えていた!!

個人的には「乱」を思い出す年。熱中症に罹ったり、体調が乱れたりして注意信号が時々。

皆さん、来年も健康に留意して頑張りましょう。

(綿引 栄治)